

2022 年度
(2022.4 月-2023.3 月) 昇順

● 防災関連事業活動内容



2022年度 Human Relations SHIN 防災関係事業(実施・参加)

・ 2022年6月30日(木) 13:30-15:00 喜楽苑 地域ケアセンター あんしん24

あんしん24 デイサービス防災学習 実施

(自分を守るために知っておきたい備え) (私のあかりランタン作りチャレンジ)



6月30日午後よりで利用者の方々と防災のお勉強とペットボトルランタンづくりが実施できました。コロナで中止なって依頼2年半ぶりの第3弾の防災学習会です。講習後のランタンづくりも17名の方が参加され、ご自身の出来上がりを見て素敵な笑顔をたくさん拝見できました。達成感を味わえるのは大切です♪長寿の秘訣です

・ 尼崎市サマセミ先生説明会参加

2022年7月9日(土) 10:30-12:00 (新山/永田) 尼崎市立尼崎高校にて



サマセミ当日8/6(土) 3限目 13:20より 授業実施

「防災対策を見直そう!! 家族自分のために」

今個々に必要な防災対策を見直しましょう。

難しく考えず、まず自分たちができることを確実にしましょう。

授業に参加した方は終了後貴方を身を守る笛をもらってくださいね。

参加対象: 中学生以上・未就学时は親子同伴可 25名

定員に達したら締め切らせていただきます

・ 尼崎市サマセミ事業開催

講師: 新山千恵・中野しづ子 受付補助: 永田 運搬: 新山拓 (スタッフ4名)

2022年8月6日(土) 3時限目 13:20-14:10 (尼崎市立尼崎高校にて開催)



参加者は大人13名
皆さん防災について真剣に考えておられる方ばかりで興味をもって受講頂き、質問にも丁寧に答えられました。終了後「面白かった」「分かりやすかった」3人の息が有っていた」「盛りだくさんで難しいところもあった」と色んな感想をいただきました。

・ 2022年8月18日(木) 13:30-15:00

西宮市民共済生活協同組合主催

「夏休みだ！親子で防災」を実施

講師：新山千恵 スタッフ：中野・永田



★尼崎市外の行事(兵庫県西宮市)★

参加者 25名(見学者 1名) = 防災学習 20分 = 日本地震の多さに注目！ 2022年は500回以上発生・震度5以上は既に9回発生している。危険に遭遇したときどうするのか。災害の多さ等の根拠を知って、答えといわれるものに対して常に「それはなぜ？」という事を常に考えていこう。防災に決まりはないという事を簡単な質問を通してなげかけて正しい情報を活用することなど、短い時間ですが学んで頂きました。

アンケート結果もホームページに掲載

ちょっと防災と豆知識注入～！



材料は感染対策個別セット♪



みんなの作品(^^) サンプルよりも個性的に仕上がりましたよ！参加者、ご家族の皆さんで25個作ってくれました。



・ 2022年8月30日(木) 10:30~12:30

= 防災学習実施 = 必要な防災対策を見直そう

講師：新山千恵 運搬：新山拓

対象：潮江幸齢者ふれあいサロン会員の皆さん 16名

会場：コミュニティサロンはなみずき



ホームページでも紹介いたしましたが高齢者ではなく「幸齢者のサロン」各自が学習しながら学び、実践の場をもち活動の中で防災に関する事を今一度見直して頂くきっかけにさせていただきました。



・ 2022年10月22(土) ~23日(日) ぼうさいこくたい (内閣府主催)



尼崎市外イベント (兵庫県神戸市)

兵庫県赤十字 無線奉仕団で参加

(新山) 無線指導員

・ 2022年11月5日(土) 13:00-15:00 内閣府主催 「津波防災の日」スペシャルイベント

オンライン受講

11月5日は津波防災の日 世界津波の日

2022.11.5 13:00-15:00

内閣府

講演内容紹介

第1部 津波防災の現状と課題

守村文彦 (東北大学災害科学国際研究所 所長)

第2部 津波防災の現状と課題

北澤清隆 市長

和歌山県新羅町 町長

講演者プロフィール

講演内容詳細

・ 2022年11月11日(金) 14:00-15:30 令和4年尼崎市防災会議 防災センター

尼崎市防災会議を傍聴させていただきました。

傍聴目的：私達が伝える減災の内容の検証

Twitterでも掲載しましたが大変参考になりました。

何故なら、情報伝達システムの運用を各地域自治体がどう運用されているかなど知りたかったのと、SHINとして今後の取り組みの中に私達一般市民が防災ネットの登録はしたものの、活用をされているのか、地域消防訓練、防災訓練でハザードのアプリを活用しているのかなど今後伝えるべき内容の参考になりました。

・ 2022年12月3日(土) 15:00-17:00

尼崎市上坂部 小規模認可保育園(0歳~2歳児対象) マミーズハウス・平松 防災学習会実施

2022.12.3 (土)

マミーズ・ハウス平松 防災学習会

～つなごうのち～

ひょうご防災特別推進員(防災リーダー) 防災士：新山千恵

SHIN



対象：保育士・職員(14名 内欠席2名)

【本日講習内容】

導入ー過去の災害ー災害発生メカニズム(災害、速報のしくみ)ー

対策(ハザードを知る・各種災害の発災時初動対応・安否確認・情報収集・

転倒防止・備蓄・避難のタイミング・毎避難カード他)

【今後の課題内容】

避難訓練・防災訓練・各学習の参加及び実施

避難先は被害想定を考え在園・避難所での対応を可能にする

それに伴い各マニュアル(BCP)の見直し・改定(PDCA)

ブラボーな保育士さんばかりです。今までご自分たちでBCPも策定され

対応されているのでスタッフのチームワークの良さに繋がっています。

園長先生のリーダーシップのもと雰囲気も素晴らしいです。今後今までの

取り組みを細かく検証し、他の保育園も参考にし、地域とも連携されて行く

ことで素晴らしいモデル保育園になっていかれると確信します。

・ 2022年12月11日(日) 10:00-12:00

けま喜楽苑 防災学習参加 ブラインド訓練2名 (新山・永田)



防災訓練

テーマ 自然災害から命を守る!!

日時 令和4年12月11日(日)
時間 午前10時~12時00分
場所 けま喜楽苑

当日のプログラム
・南海トラフ地震発生想定での避難所から、福祉避難所までの行動訓練
・ミニ学習会
・防災用品の使用体験、備蓄の試食など

お問い合わせ: けま喜楽苑
尼崎市東園2-22-1
06-4933-3300
担当 坂本・松下

尼崎市介護施設けま喜楽苑さんの防災訓練では、ブラインド訓練での特養棟けが人(歩行困難)・閉じ込め役等をさせて頂きました。

南海トラフを想定した初動行動からの大規模訓練で、地域の方や行政、消防署、市議員の方も参加の公開訓練です。

各責任者の方は利用者、職員の安否確認をされながら福祉避難所としての本部立ち上げ。その間も問題やけが人が増えていくという中でのブラインド訓練、事前学習会・会議・プレ訓練も重ねられて施設の皆さんで作上げた大変すばらしい訓練でした。

・ 2022年12月18日(日) 13:00-15:00 JR三宮東口3箇所 (参加:新山)

NHK 海外たすけあい該当募金

日本赤十字無線奉仕団よりボランティアより参加しました。



・ 2023年1月8日 13:30~16:30 場所: 尼崎市 小田南生涯学習プラザ学習室

SHIN 新年の集い/防災・減災活動打ち合わせ (新山・永田・中野・原口)



オンライン受講講習

- ・2023年1月21日 ひょうご防災リーダー講座・上級者コース わライン（新山・中野）

10:10-11:30

基調講演オンライン配信受講

SHIN参加者（新山／中野）

地区防災計画の現状と課題から見えてくる今後の畜防災計画づくりの方向性について

講師：加藤 孝明氏

（東京大学生産技術研究所教授／社会科学研究所特任教授）

- ・2023年1月28日 兵庫県防災士会 アウトドアぼうさい あんどうりす氏講座（新山・中野）

10:10-11:30

兵庫県防災士会研修会

SHIN参加者（新山／中野）

古い常識のまま支援していませんか？ 災害時の乳幼児栄養と 性犯罪対策について

いつもながら安藤先生の講習は素晴らしい！

子育てと防災、弱者と防災、後回しになってしまうと大変な問題へと発展する事をイメージしやすく伝え方の学びが大きかったです。

- ・2023年2月4日 10:00-12:00

赤十字ボランティア基礎反復研修会 zoom

（参加）活動確認研修

- ・2023年3月12日(日) 13:30~16:00

日本防災士会 zoom 研修 参加 東日本大震災風化防止シンポジウム ～私たちにできること～

栗田 暢之氏 NPO 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク JVOAD 代表理事

「素晴らしいボランティアのプロの JVOAD の栗田代表理事のお話は自ら動きだしたくなるような気持ちを湧き立て大変勉強になりました。

風化せずに伝える事がボランティアを育てる事にも繋がると思いました。

是非 JVOAD さんの中で活動してみたいと感じる講習でした。」

- ・2023年3月12日(日) 10:00-12:00

尼崎市 防災センターセンター3F 令和4年度尼崎市防災リーダー研修会 参加

講演会「災害対応力を強化する女性の視点」

テーマ①女性リーダーを育てるにはどのような取り組みが必要か

テーマ②男女共同参画の観点での防災の意識を高めるにはどのような取り組みが良いか

講師：相川 康子氏 NPO 政策研究所専務理事

「色々な防災リーダーの方が集い人が集まる工夫をグループワーク

何となく新鮮な気持ちになれて良かった事と平和だなあと感じました」